※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史探究」（実教出版）						
副教材等	「図説　日本史通覧」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義形式の授業を中心にしながらも、必要に応じて、課題学習や協働学習を実施する。教科書や史料から問題を解き、知識・技能の定着をはかり、プロジェクターの使用やDVDなど視聴覚教材も利用し、協働学習や課題探究の時間を取り入れることで思考力・判断力・表現力を育む。また、課題学習や日々の授業などで学習に向かう意欲や態度を評価する。

2　学習の到達目標

・近世、近現代の日本の歴史の変化にかかわる事柄についての知識や資料の活用技能を理解習得している。
・近世、近現代の日本の歴史にかかわる事項について多面的・多角的に考察し、適切に判断し、表現することができる。
・よりよい社会の実現のために主体的に行動する態度を養い、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近世・現代の日本の歴史の展開を理解するとともに、地理的条件や世界の歴史との関連を理解することができる。また、様々な資料を収集し、活用することができる。	近世・現代の日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、考察したことを適切に表現することができる。	近世・現代の日本の歴史に対して関心をもち、課題に関して意識を高め、意欲的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近世の日本と世界	東アジア世界の変容と天下統一 幕藩体制の成立と展開 近世の国家・社会の変容	a:近世の日本の歴史的事象から、他国との関係や政治、社会、文化の変容を理解する。 b: 近世の国家・社会の変容を、歴史資料を用いて多面的・多角的に考察し、表現する。 c:国家・社会の変容の考察や資料の読み取りに意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査2回 確認テスト	ワークシート 定期考査2回	ワークシート 振り返りワーク
2学期	近現代の地域・日本と世界	開国から討幕へ 明治維新 近代国家の形成 両大戦間期の日本 十五年戦争と日本	a:近代の日本の歴史的事象から、他国との関係や政治、社会、文化の変容を理解する。 b: 近代の国家・社会の変容を、歴史資料を用いて多面的・多角的に考察し、表現する。 c:国家・社会の変容の考察や資料の読み取りに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク
3学期		戦後日本の形成 グローバル化の中の現代日本	a:現代の日本の歴史的事象から、他国との関係や政治、社会、文化の変容を理解する。 b: 現代の国家・社会の変容を、歴史資料を用いて多面的・多角的に考察し、表現する。 c:国家・社会の変容の考察や資料の読み取りに意欲的に取り組もうとしている。	確認テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度